令和5年度 No.8

駒岡小学校だより

１２月号

ご家庭・地域の方々に感謝の気持ちをもって

主幹教諭 大関 陽介

今年度、転任して参りました大関と申します。学校だよりに載せる機会をいただきましたので、4月から8か月間、子どもたちと一緒に過ごしてきて感じたことをお伝えさせていただければと思います。まず、子どもたちが進んで挨拶をすることに驚きました。朝、校門に立っているときには「おはようございます。」と、廊下ですれ違うときには「こんにちは。」と、自然に挨拶をしてくれます。また、私は1年生の担任ですが、6年生の1年生に対する関わり方がとても優しく、思いやりをもって接してくれるので、素敵だなと思います。全体的に素直で、教師の思いを受け止めようとする子どもたちが多い印象を受けています。以前お世話になった方に、「子どもの成長を考えるときには、家庭と教師が同じ方向を向いていること、教師に任せるところ、家庭に任せるところを、お互いが理解し合っていることが大切だと思う。」と教えていただいたことを思い出しました。素直で、人と関わることを好んでいる子どもたちが多いのは、皆様が本校の教育活動にご理解くださっているからこそだと思います。また、先日の駒岡フェスティバルの運営や読み聞かせボランティア、教室に飾る花のご用意、カーテンクリーニングなど、数え切れないほどのご協力をいただいています。私たちも、ご家庭の信頼を一層得られるように、一丸となって努めていかなければと強く思います。また、地域の方々に支えられていることも実感しています。学校運営協議会の方々をはじめ、学校地域コーディネーターの方を中心に授業のご協力、いつもありがとうございます。そして、私たち教職員だけではなく、子どもたちも駒岡のまち・人に支えられていることを実感し、他者への思いやりや感謝の心を育み、駒岡の地域に愛着をもってほしいと願うところです。

駒岡小学校の教職員は、子どもたちのよりよい成長を願って、教育活動に取り組んでいます。しかしながら、子どもたちと信頼関係が築けていても、こちらの思いがしっかりと伝わることもあれば、うまく伝わらないこともあります。また、家庭と学校では、子どもたちの見せる顔が違うこともあるかと思います。このように、子どもたちは時と場に応じてさまざまな姿を見せます。その子どもたちの些細な変化に気づけるように、先日、児童支援専任を中心に、いじめに対する研修を行いました。学年・学校全体で対応すること、早期発見・早期対応を目指して支援することを共有しました。私たち教職員は、子どもたちの成長が見られたとき、子どもたちが楽しんで学校生活を送っているとき、保護者の皆様から温かい言葉をいただいたとき、やりがいを感じ、それが心の支えになります。これからもご家庭や地域の方々の温かいサポートのもと、子どもたちにとって充実した教育活動になるよう、努めていきたいと思います。

師走を迎え、本年もたくさんの感謝や反省をして振り返る時期となりました。皆様には、改めまして、大変お世話になりました。ありがとうございました。子どもたちのよりよい成長を目指して、来年度に向けて行事等の見直しを行っているところです。来年も、子どもたちのよりよい成長のために、ご理解とご協力をお願いいたします。